

おばま 市議会だより

No. 144



幕末の志士 梅田雲浜先生

幕末の勤皇の志士梅田雲浜先生は、文化十二年（一八一五年）、六月七日、現在の千種二丁目で小浜藩士、矢部岩十郎義比の次男として生まれた。外国船が来航、開国を要求し、我が国未曾有の危機迫る中、雲浜先生は、天皇中心の国政とする尊王攘夷論をもって日本各地を奔走し、多くの若い志士達の指導的役割を果たした。惜しくも、安政の大獄（一八五八年）で捕えられ、翌年九月、江戸において病死、四十五年の生涯を閉じられたのであった。思えば先生四十五年の生涯は、終始、貧苦と不運の連続であったが、これを克服し、初心を曲げず、崎門学の勤皇愛国の精神を貫徹された人生であった。梅田雲浜先生誕二百年を記念し、明治維新の先駆けとして活躍され、日本の激動期に大きな足跡を遺された梅田雲浜先生を末永く顕彰し、その御遺徳を偲び、後世に伝えるため、顕彰看板をここに建立する。

平成二十七年六月七日

梅田雲浜先生誕二百年記念事業実行委員会

第17期市議会組織紹介..... P2
5月臨時会・6月定例会の概要... P4
市政を問う！一般質問..... P7

議会の組織紹介

長をはじめとする議会の組織が決まりました。

議長就任のご挨拶



第46代 議長
かきもと まさなお
垣本 正直
64歳
無所属 4期目

このたび、第46代小浜市議会議長に就任いたしました垣本正直でございます。議長就任にあたりましてご挨拶を申し上げます。今年度、文部科学省が創設した『日本遺産』に、小浜市と若狭町から成る「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群」御食国若狭と鯖街道」が認定されたことや、7月20日〜23日、ミラノ博での若狭塗箸やキッズキッチンの出展などは本市の観光や産業等の振興にまたとない好機となっております。

一方、全国的に少子高齢化と人口減少対策が課題となっており、本市においてもその影響が多方面に深刻な問題をもたらしています。

小浜市議会ではさまざまな市政課題に対し、各常任委員会の所管事務調査活動をはじめ、北陸新幹線若狭ルートの早期実現、原子力発電所安全対策、人口問題対策の3つの特別委員会を設置し、より専門的に調査・研究してまいります。

今回の小浜市議会議員選挙は初めて無投票となりましたが、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられる法案が成立し、議会をとりまく環境も変わりつつあります。市民の皆様のご意見を的確に把握するために、議会報告会や意見交換会を開催し、議会のある方等につきましても広くご意見をお伺いし、さらに開かれた議会を目指してまいります。

皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

議長・副議長

(平成27年5月18日現在)

議長	垣本 正直
副議長	藤田 善平

議会選出監査委員

(平成27年5月18日現在)

委員	清水 正信
----	-------

議会運営委員会

(平成27年5月18日現在)

議会運営委員会 (6人)	委員長	富永 芳夫
	副委員長	風呂 繁昭
	委員	小澤 長純
	//	今井 伸治
	//	下中 雅之
//	池尾 正彦	

広報委員会

(平成27年5月18日現在)

広報委員会 (6人)	委員長	藤田 靖人
	副委員長	竹本 雅之
	委員	熊谷 久恵
	//	佐久間 博
	//	能登 恵子
	//	藤田 善平

副議長のご紹介



第55代 副議長
藤田 善平
66歳
無所属 4期目

第17期小浜市

平成27年5月18日の臨時会において、正副議

常任委員会

(平成27年5月18日現在)

予算決算常任委員会 (議長を除く17人)	委員長	下中 雅之
	副委員長	西本 清司

総務民生常任委員会 (9人)	委員長	小澤 長純
	副委員長	熊谷 久恵
	委員	能登 恵子
	//	下中 雅之
	//	三木 尚
	//	垣本 正直
	//	藤田 善平
	//	富永 芳夫
	//	宮崎 治宇蔵

産業教育常任委員会 (9人)	委員長	今井 伸治
	副委員長	牧岡 輝雄
	委員	竹本 雅之
	//	藤田 靖人
	//	佐久間 博
	//	西本 清司
	//	風呂 繁昭
	//	清水 正信
	//	池尾 正彦

一部事務組合

(平成27年7月9日現在)

嶺南広域行政 組合議会議員 (4名)		竹本 雅之
		藤田 靖人
		三木 尚
	代表	池尾 正彦

公立小浜病院 組合議会議員 (10名)		熊谷 久恵
		牧岡 輝雄
		藤田 靖人
		小澤 長純
	議長	能登 恵子
		下中 雅之
		三木 尚
		風呂 繁昭
	富永 芳夫	
	宮崎 治宇蔵	

若狭消防組合議会議員 (7人)		竹本 雅之
		佐久間 博
		西本 清司
		今井 伸治
		藤田 善平
	議長	清水 正信
		池尾 正彦

福井県後期高齢者医療 広域連合議会議員(1名)		垣本 正直
----------------------------	--	-------

特別委員会

(平成27年6月30日現在)

北陸新幹線若狭ルート 早期実現特別委員会 (9人)	委員長	清水 正信
	副委員長	下中 雅之
	委員	竹本 雅之
	//	佐久間 博
	//	小澤 長純
	//	能登 恵子
	//	藤田 善平
	//	風呂 繁昭
	//	富永 芳夫

人口問題対策 特別委員会 (9人)	委員長	西本 清司
	副委員長	今井 伸治
	委員	熊谷 久恵
	//	牧岡 輝雄
	//	藤田 靖人
	//	三木 尚
	//	垣本 正直
	//	池尾 正彦
	//	宮崎 治宇蔵

原子力発電所安全対策 特別委員会(全議員18人)	委員長	池尾 正彦
	副委員長	能登 恵子

総合振興協議会

(平成27年6月3日現在)

小浜市・おおい町総合振興協議会(全議員)

小浜市・若狭町総合振興協議会(全議員)

小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会(8名)

副会長	藤田 善平
監事	西本 清司
会 員	熊谷 久恵
//	牧岡 輝雄
//	佐久間 博
//	小澤 長純
//	能登 恵子
//	宮崎 治宇蔵
顧問	垣本 正直

5月臨時会の概要

平成27年第2回臨時会が5月18日に行われました。

この臨時会では、まず議長・副議長選挙が行われ、第46代議長に垣本正直議員、第55代副議長に藤田善平議員が就任しました。

また、第17期議員の所属委員会等が決定されたほか、専決処分に関する2件の報告を受理、5件の議案の承認を行い、監査委員の選任と副市長の選任を審議し、どちらも原案同意されました。

●人事案件

◆監査委員の選任について

清水 正信氏

(山手二丁目)

◆副市長の選任について

東 武雄氏(加茂)

賛成全員で同意

6月定例会の概要

平成27年第3回定例会は6月11日から6月30日までの20日間の会期で行われました。

今定例会では、各会計の補正予算をはじめ、条例その他議案が提出され、慎重に審査しました。

定例会最終日には「北陸新幹線若狭ルート早期実現特別委員会」「原子力発電所安全対策特別委員会」「人口問題対策特別委員会」の3つの特別委員会が設置されたほか、選挙管理委員会委員および補充員の選挙を行いました。

なお、議案第59号から62号について、宮崎治宇蔵議員より反対討論が行われました。

●契約の締結

◆小浜市クリーンセンター基幹的設備改良工事請負契約の締結について

賛成全員で可決

◆小浜市民体育館耐震補強(建築)工事請負契約の締結について

賛成全員で可決

●特別委員会の設置

◆北陸新幹線若狭ルート早期実現特別委員会の設置について

賛成全員で可決

◆原子力発電所安全対策特別委員会の設置について

賛成全員で可決

◆人口問題対策特別委員会の設置について

賛成全員で可決

●主な条例

◆小浜市個人情報保護条例および小浜市情報公開条例の一部改正について

賛成全員で可決

●人事案件

◆固定資産評価審査委員会の選任について

地村 太市郎氏(飯盛)
賛成全員で同意

◆小浜市選挙管理委員会委員選挙結果

委員
中野 武氏(深野)
竹中 俊子氏(加茂)
磯野 博美氏(鯉川)
盛井 三紀子氏
(太興寺)

補充員
杉田 弥生氏
(小浜広峰)
豊永 真誠氏(高塚)
藤井 満孝氏(北塩屋)
奥井 莊一郎氏
(谷田部)

◆小浜市議会会議規則の一部改正

小浜市議会では、男女共同参画の一環として、会議規則の一部を改正し、女性議員が出席する場合、本会議・委員会を欠席できるようにしました。

【可決した平成27年度補正予算】

会計名	既決予算額	6月補正額	合計
一般会計	159億円	3億7,090万円	162億7,090万円
特別会計	93億5,537万円	1,340万円	93億6,877万円
企業会計	8億6,506万円		8億6,506万円
計	261億2,043万円	3億8,430万円	265億473万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

平成 27 年第 2 回臨時会採決結果

全員賛成で可決、同意した議案等

項目	件名
報告	議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)
	議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)
条例	専決処分につき承認を求めることについて(平成 26 年度小浜市一般会計補正予算(第 11 号))
	専決処分につき承認を求めることについて(小浜市市税条例等の一部改正について)
	専決処分につき承認を求めることについて(小浜市都市計画税条例の一部改正について)
	専決処分につき承認を求めることについて(小浜市総合計画審議会設置条例の一部改正について)
人事	監査委員の選任について
	副市長の選任について



【採決表示ボタン】

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
 ○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)
 ※垣本正直議員は議長のため採決には加わっておりません。

項目	件名	採決結果	熊谷久恵	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	佐久間博	西本清司	小澤長純	今井伸治	能登恵子	下中雅之	三木尚	垣本正直	藤田善平	風呂繁昭	富永芳夫	清水正信	池尾正彦	宮崎治宇蔵	賛成	反対	
条例	専決処分につき承認を求めることについて(小浜市国民健康保険税条例の一部改正について)	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1

平成 27 年第 3 回定例会採決結果

全員賛成で可決、同意した議案等

項目	件名
報告	平成 26 年度小浜市一般会計予算繰越明許費の報告について
	平成 26 年度小浜市下水道事業特別会計予算繰越明許費の報告について
	平成 26 年度小浜市水道事業会計予算繰越の報告について
	小浜市土地開発公社経営状況の報告について
	株式会社ケーブルテレビ若狭小浜経営状況の報告について
	小浜市総合卸売市場株式会社経営状況の報告について
	株式会社まちづくり小浜経営状況の報告について
	議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)
予算	平成 27 年度小浜市一般会計補正予算(第 1 号)
人事	固定資産評価審査委員会の選任について
議会	小浜市議会会議規則の一部改正について
	原子力発電所安全対策特別委員会の設置について
	人口問題対策特別委員会の設置について
その他	嶺南広域行政組合格約の変更について
	小浜市クリーンセンター基幹的設備改良工事請負契約の締結について
	小浜市民体育館耐震補強(建築)工事請負契約の締結について

●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後約 2 週間程度で視聴できます)などさまざまな情報を掲載しています。



小浜市議会

検索

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
 ○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)
 ※垣本正直議員は議長のため採決には加わっておりません。

項目	件名	採決結果	熊谷久恵	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	佐久間博	西本清司	小澤長純	今井伸治	能登恵子	下中雅之	三木尚	垣本正直	藤田善平	風呂繁昭	富永芳夫	清水正信	池尾正彦	宮崎治宇蔵	賛成	反対	
予算	平成 27 年度小浜市一般会計補正予算(第 2 号)	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
	平成 27 年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第 1 号)	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
	平成 27 年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
	平成 27 年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第 1 号)	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
条例	小浜市個人情報保護条例および小浜市情報公開条例の一部改正について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0
	北陸新幹線若狭ルート早期実現特別委員会の設置について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0

委員会審査

予算決算常任委員会

(6月補正)

社会保障・税番号制度

(マイナンバー制度)の導入

各会計合計

6983万6000円

問 委託先事業所については

「小浜市個人情報保護条例 および小浜市情報公開条例」が適用されるのか。

答 当然罰則規定も適用される。

問 高齢者、特に認知症の方への個人番号カードの発行は悪用される恐れがあるが、その対応は。

答 第三者が個人番号カードを発行する場合、委任状や本人確認書類、暗証番号の設定が必要であり、悪用は難しい。国のマニュアルに基づいて対応していきたい。

防災体制整備事業

185万円

問 主催が福井県と小浜市になっているが、役割分担はどのようなのか。

答 自衛隊、海上保安庁等大きな団体の関係は県、住民避難訓練とか倒壊家屋の救助訓練等は市である。

【意見】 自主防災組織の機

運が高まるような取り組み女性が多く参加できるように取り組む。

日本遺産推進事業

100万円

問 今まで文化庁は観光交流や地域の活性化は言わなかったように思われるが、東京オリンピックを視野に入れた取り組みなのか。また、事業費が2億円となっているが、今後の取り組みは。

答 日本遺産に18団体が認定されたが、国はオリンピックまでに100の認定を考えている。都会だけでなく地方にも誘客を図るものであり、今までの文化財保護を主としたものから、ストーリー性をつけて訪れた人に物語を語れるような遺産にしていくということがある。2億円については、ガイダンス施設等を今後3年間かけて検討していく。

自然光利用型の連棟ハウス整備事業

1億6298万3000円

問 農家に対してJAが貸し出すという事だが、リース期間と農家のメリットは。

答 リース期間は14年で、農家の初期経費が軽減される事が農家にとって大きいと考える。今回の取り組みはJA若狭管

内では初めてで、農家単独では難しく、産地全体で取り組む必要がある。

農地集積・集約化対策事業

中間管理機構への貸し出しの現状と今後の対応は。

答 農地集積は一番力を入れてやるべき取り組みと考えている。宮川では集落営農組織や任意組織があるが、これらを合体して100ha以上の農地を1法人で経営するメガファーム構想が進んでいる。この際に農地集積についても取り組むという事で、各地域の説明会に市の担当者が出席している。農業委員会や全農家を対象としたアンケートを行っており、今後5年間農業をどう考えるか、意向を確認して、農地集約に取り組む機会を盛り上げていきたい。

道路維持管理経費

1990万円

問 道路修繕は今まで区長が直接都市整備課にお願いしてきたが、まちづくり協議会の中で悩んでいる部分がある。区長会との住み分けが、現在過渡期で分からないところがある。

答 昨年までは現物支給・重機の借り上げ費等、都市整備課で予算を持っていた。今年

度からまちづくり交付金という事で、5地区のモデル地区のまちづくり協議会に予算を配分した。道路整備などで支給していた原材料等の費用も、地区の中で対応してもらう試行を行っている。地区内で対応を判断しかねる場合は、市の方に相談してほしい。

総務民生常任委員会

◆議案第63号 小浜市個人情報保護条例および小浜市情報公開条例の一部改正について

【説明】 市の一部窓口業務を民間業者に委託することに伴い、個人情報保護の実効性を確保するため、罰則規定を設けようとするもの。

問 不正な利益を目的としたものでないミスは、罰則規定に該当するのか。

答 この条例は、保有個人情報を利用することが目的という定義のため、単純なミスは含まれない。

問 指定管理を受けた業者にも、公務員規定の守秘義務は該当するのか。

答 該当する。

問 不正が起こった場合、小浜市個人情報保護審査会で判断するのか。

答 罰則の判断をするのは裁判所。

◆議案第65号 小浜市クリンセンター基幹的設備改良工事請負契約の締結について

問 設計委託料、工事設計額、入札参加業者数は。

答 設計委託料は367万2000円、工事設計額は1億9999万9880円で、入札に参加した業者は1社。

問 今回は制限付き一般入札だが、1社しか応札が無かった原因と、設計業者と工事入札業者の関係は。

答 4社程度は応札可能と考えていたが、電気設備や制御系設備の対応が難しいのではと考えている。設計業者と工事入札業者については、直接的な繋がりはない。

問 循環型社会形成推進交付金が対象であるが、交付対象要件である、酸化炭素排出量3%以上削減の基準は。

答 二酸化炭素は電気量や重油代で換算しており、単純にこみの減少での二酸化炭素減少は対象ではなく、時間当たりごみの焼却量に対しての排出量減少が3%以上である。

産業教育常任委員会

◆議案第66号 小浜市民体育館耐震補強(建築)

工事請負契約の締結について

問 工事期間が1年数か月かかるが、その間の代替えをどうするのか。

答 大きな大会については小浜中学校と小浜第二中学校の体育館、他の団体はサン・サンホームとふれあいセンターを活用する。

問 トレーニングルームは今後も活用するのか。

答 トレーニングルームは1・2階共、内装をきれいにしておのまま使う予定。

問 この体育館を耐震補強して、あと何年使う考えか。

答 この施設は鉄骨鉄筋コンクリート造築39年で、資産耐用年数は約50年といわれているが、大きな損傷もなく、まだ大丈夫だと考えている。

【意見】 トレーニングルームの窓は子供の転落の危険性がある。手すりも老朽化してきている。

【要望】 平成17年度にアスベスト困り込み工事を3720万円かけて施工した。今回アスベスト撤去工事をする。10年前にこの耐震工事をするのが予想出来なかったのか。今後どういった計画は、先見の目を持って大分検討し実施してほしい。

市政を問う！一般質問

平成27年第3回（6月）小浜市議会定例会

ページ	氏名	質問項目	ページ	氏名	質問項目
7	佐久間 博	1.人口問題について 2.新幹線若狭ルートについて 3.文化庁の日本遺産第1号認定について 4.観光を切り口とした取り組みについて	10	熊谷 久恵	1.日本遺産認定第一号を活かしたまちづくり 2.食のまちづくりについて
8	風呂 繁昭	1.おばまの中長期財政と人口減少対策 2.小浜のビッグな風をどう生かすのか 3.障がい者雇用 4.情報通信技術教育を導入	10	牧岡 輝雄	1.小浜 中・西部地域観光まちづくり計画の件 2.雨水渠整備について
8	西本 清司	1.農業施策について 2.市のインフラについて	10	宮崎治宇蔵	1.集团的自衛権の違憲性について 2.国保税の引き下げについて 3.原発30キロ圏内の避難計画について 4.公民館を拠点とした地域づくりについて 5.コンビニ収納導入について
8	池尾 正彦	1.日本遺産認定第1号「御食国若狭と鯖街道」 2.(仮称)東部小学校の建設について	11	下中 雅之	1.小浜市新こすもすプラン2017について
9	藤田 靖人	1.まちづくりの空き家対策について 2.災害対策について 3.健康管理センターについて	11	能登 恵子	1.学校でのあらゆるマイノリティへの対応・対策 2.市役所玄関口の庇について
9	小澤 長純	1.原発再稼働に関連する諸課題について、市長に問う 2.介護施設の充実について			

企画課から人口増 未来創造課へ名称を変えた目的は。
 圏全ての施策を人口増に繋げるため、人員を増やして取り組む。
新幹線若狭ルート 建設促進同盟会の今後の活動は。
 圏県内、亀岡等京都府、大阪府沿線自治体の熱意が必要となるため、若狭ルートの決定に向けてあらゆる機会を通して啓発活動を行う。
若狭ルートの課題は何か。効果は。
 圏建設費が他のルートより大きいこと。
 大阪までの時間が最短である。東京一極集中に歯止めをかけ、嶺南地域、福井県全体の発展になり、人口減少対策にもなる。

昨年、市長が区長



佐久間 博
議員

地域起こし千載一遇のチャンスを活そう

会百名に講演された内容を、チャンネルOでの放映を提案する。
 圏市民の皆さんに新幹線の整備効果をご理解いただけるよう、シンポジウムなど、発信して機運を盛り上げていきたい。
日本遺産第1号認定を活かし、ブランド力をどう高めるか。
 圏本市が全国を代表する歴史文化都市として18件の中に入った。国庫補助事業を活用し、内外に発信する。
若狭おばまフィルムコミッションの取り組みは。計画は。
 圏TV番組、CMの撮影も増え、旅番組やご当地グルメ番組放映後の問合せも多い。積極的にマスコミプロモートに努めたい。
観光を切り口とした取り組みとして、ホームページに旬な話題の発信と外国人向けにもいち早い対応を求む。
 圏外国人観光客への情報発信もしていく。



風呂 繁昭
議員

岡平成20年市長就任以来、精力的に行財政改革に取り組んでこれ財政調整基金(貯金)を積み健全財政運営に取り組んでこられた。しかし現状今後を考えると相当厳しい財政運営である。限られた財源の中で市民の負担に答えていかなければならない「責務」がある。直面する重要課題の取り組みとして「ひとの創生」「じごとの創生」「まちの創生」等国や県の交付金、補助金を活用して積極的に取り組むべきである。

「おばまの中長期財政と人口減少対策」

約8億円が約15億円、地方債は約164億円が約153億円、厳しい財政運営が予想される。地元企業の育成や企業誘致など、経済雇用対策等に精力的に取り組んでいく。

岡 経済産業省が通勤時間の短さや、自然環境等、生活の質にいくら支払う価値があるか調べた住みやすさランキングで小浜が全国5位、アメリカのニューズ専門放送局(CNN)の蘇洞門が日本の最も美しい31選に選ばれた、御食国若狭と鯖街道が日本遺産に認定された、小浜へのビッグなチャンスはどう活かしていくのか。

岡 出前講座等による市民への意識啓発を始め、外国人観光客の受入基盤を進め、多言語表記の推進に努める。ガイド育成には、文化庁の補助事業の活用を検討する。



西本 清司
議員

岡 市の農業の現在の状況や、国の政策の変遷・方向性に対する影響、また今後の農業者の持つべき将来像と今後の農業のあるべき姿を踏まえた市の施策について問う。

岡 現況は耕作放棄地が70haで口名田・中名田・加斗で7割を占めている。就業者も65歳以上が約75%で国平均約62%より多い。鳥獣害被害は対策室を設置し取り組んだ結果、被害額はピーク時の3分の1程度に減少している。今後に対してはPPP交渉の動向等にも注視が必要で、政府が本年3月に決定した方針では現行の継続としており、市では今後は競争力のある経営体を育成することが必要であり農地の集積・集約

30 数年先の将来を見越した施策を求む！

が必要である。また市としては中山間地については別途支援を考慮していく。

岡 道路の整備方針や教育施設整備の将来像、居住地域(街と周辺の周辺や田舎・里の周辺)の考え方等、市のインフラについて今後の構想等を問う。

岡 国道・県道についてはR102号の現整備計画の推進、県道岡田深谷線の整備推進、市道では全13路線の整備に取り組む。教育施設は保育園統合計画を、小学校再編に向けては最終的に4校を目指して進めるが、地域住民との合意が大前提である。今後の人口減少を考えながら市街地をコンパクトシティ化し、これ以外の地域においても地域力を結集してもらい、地区単位のまちづくりを推進し地域の課題を住民自ら考えその解決に向けて取り組むことが重要になると考えている。



池尾 正彦
議員

日本遺産認定第1号「御食国若狭と鯖街道」について

岡 歴史的重みをどう考えているのか。

岡 街道を通じて、我が国の食文化である「和食」の形成の中心的役割を担っている。大陸や京都の影響を受けた文化が街道沿いの町並みに今も息づいている。これらの遺産は、地域の歴史的特色としては全国に類例がなく、その重みは大きい。

岡 申請文化財の構成内容について。

岡 今回の日本遺産制度は日本独自の文化・伝統を語るストーリーを認定するものであり、4つのカテゴリーで構成されている。

岡 市民への周知・普及・啓発について。

岡 各地域や団体へ出前

小浜市の未来に向かっての挑戦

講座を実施する。夏には、教職員対象の出前講座を計画中である。

岡 「針畑越え、最古の鯖街道の歴史的景観」への取り組みについて

岡 (意見) この街道の価値は、昔ながらの歴史的景観も残り、ただ単に鯖だけを運んだ道でなく、小浜に京都・奈良からの文化を運んできた最古の道でもある。

岡 また、この道は申請時には「針畑越え、鯖街道」と称したが、地理的な位置関係が理解出来ない人が非常に多い。この峠は、根来坂とも呼ばれているので、今後は「根来坂鯖街道」と呼称する方が人々には分かりやすい。

岡 「仮称」東部小学校の建設について。

岡 平成31年4月の開校に向け、建設事業が本格化する。本年度には学校名の決定予定であり、その後は校歌・校章・校旗などを検討する。

一般質問

〔答〕小浜中学校側に見られる部分的な堆積は、海からの波と沿岸流によって細長い砂の堆積により形成された、いわゆる砂州と呼ばれる河川の流量が少ない時期に多く現れ



藤田 靖人
議員

〔問〕空き家の利活用について

〔答〕利活用が可能な物件については、所有者を調査し、空き家意向調査のアンケートを郵送している。今後、空き家意向調査の結果をもとに、空き家の利活用相談やふくい空き家情報バンクの充実を図りたいと考えている。

〔問〕北川の掘削と今後の対応について。現在も北川河口付近に部分的な土砂堆積が見られるが掘削の具体的方法と市の今後の対応について伺う。

まちづくりにおける様々な施策について

る現象で、豪雨時には河川からの大量の流水により、堆積土砂が一気に海へ放出されることから、計画では掘削の対象となっていない。

河道掘削の具体的方法として河床の一部を意図的に深くすることで河川内の流速を早め、常に流水を促して河川断面を持続的に保持させる方法をとっている。

〔問〕健康管理センターについて。計画している新施設はどのように考えているのか。

〔答〕新施設では「保健センター」「地域包括支援センター」「健康増進・介護予防」の3つの機能を有し、特に健康増進・介護予防など機能の充実した施設を目指している。運営については、「保健センター機能」「地域包括支援センター機能」については市が行い、「健康増進・介護予防施設機能」については民間事業者が運営を行う計画である。



小澤 長純
議員

〔問〕市長の原発再稼働に対する基本的な考え方を問う。

〔答〕原子力発電を含めエネルギー政策については、国策であり国が二元的に責任を有するものであると考えている。再稼働に向けては、安全性が十二分に担保されることが何より重要である。

〔問〕京都府が関西電力と結んだ安全協定は、小浜市のそれよりも立地に近いものと考えるが安全協定の見直しが必要ではないか。

〔答〕京都府の協定は同意権が含まれておらず立地並みとは認識していない。協定の見直しについては、立地並みとなるよう関係自治体と連携しながら粘り強く取り組んでいく。

介護施設の充実を進めよう！

について市長の考え方を問う。

〔答〕立地自治体と準立地自治体が地元であるべきと考えている。

〔問〕介護施設の充実に介護職員の確保が不可欠だが、介護福祉士の養成のため、支援策として奨学金制度の導入ができないか。

〔答〕地元元が地域で貢献できる奨学金制度の導入を検討していきたい。

〔要望〕特養施設への多くの入所待ち、スムーズなショートステイへの要望、地域密着型サービスの不足等、まだまだ市民のニーズに十分に答えられていない。介護保険料の上昇等課題はあるが、市民はもろろんのこと

都会からたくさんの方が転入してくれるような、介護施設の充実したまちづくりを目指して頂きたい。10年、20年先を見据え、今から準備を進めていくことを強く要望する。

特別委員会の紹介

6月定例会において、3つの特別委員会を設置しました。特別委員会では、市の重要課題について専門的に調査・研究を行います。設置主旨の概要は次のとおりです。

北陸新幹線若狭ルート早期実現特別委員会

北陸新幹線は、国土の均衡ある発展に極めて重要な国家プロジェクトです。特に若狭ルートの実現は、嶺南地域の発展はもとより、福井県全体の均衡ある発展を図るうえで、不可欠であると考えています。

原子力発電所安全対策特別委員会

原子力発電所の安全対策並びに防災対策について、調査および研究を行います。

また、平成26年5月に改定された「小浜市広域防災計画【原子力災害対策編】」においては、事故が発生した際の避難ルートや避難者の輸送手段が指定されました。交通渋滞への対策や要配慮者の避難体制等、より実効性のある計画になるよう議論を深め、市民の安全・安心な暮らしにつなげていきます。

人口問題対策特別委員会

国においては、急速な人口減少社会を迎え、地方創生法の策定など、そ



熊谷 久恵
議員

習、御食国や鯖街道を活かした地域活動との連携など地域創生につなげたい。

◎ミラノ万博出展の小浜市民への効果は。

◎日本遺産認定第一号は大変名誉なこと。この街の良さを再認識できるいい機会。現状と今後の周知を問う。

◎公式HPで内容掲載、広報おぼまでの特集企画で周知。全市職員対象の日本遺産研修を行い、職員が一丸となり市民に広める体制をとる。今後も各種団体、教職員対象の出前講座も予定。

◎「若狭の語り部」との連携を問う。

◎情報の共有・知識の充実を図り連携したい。

◎その他、今後の連携した取り組みは。

◎日本遺産は観光振興、地域創生を進める制度だが、同時に地域を誇りに思う心の醸成につながる認識。各小中学校のふるさと学

日本遺産、食育を活かしたまちづくり

◎ミラノ万博で「キツズキッチン」と「若狭塗り箸」を世界に発信し評価を得ることは、魅力を再認識でき、自信とモチベーションを高め地域発展に繋がると考える。

◎「食のまちづくり」を通して「人づくり」について市長の考えは。

◎しっかりと「選食力」「命を大切にすること」を持ち、心身共に健康で暮らせる環境整備に努めたい。本市は「日本食文化の縮図」と言われるほど各地区に伝統行事食が伝承され、自然への感謝、五穀豊穡を祈願する日本人の精神の表れである。自らもまちづくり活動に動き出すそんな街を「食のまちづくり」によって実現し未来につなげていきたい。



牧岡 輝雄
議員

◎ワーキンググループと協議しながら設置可能な箇所から早期の設置に努力する。

◎小浜西部地区雨水渠整備の現状は。

◎25年に基本計画を策定。26年度から詳細設計を行っている。

◎近年の、台風被害などから地域の理解が深まってきている中、早期に事業の推進をお願いする。

◎設計ができ次第、用地の確保など相談させていきたい。

◎小浜市内の自噴井戸の現状と活用は。

◎市街地を中心に120箇所程度確認されており、代表的なもの、雲城水・津島名水などがある。

◎貴重な水資源を観光や、まちづくりに活用すべきと考えるが。

◎小浜平野地下水調査の結果を待つて、観光、まちづくり、保全策について検討したい。

【意見】多賀名水の保全も必要と考える。

観光と安全・安心のまちづくりについて



宮崎治宇蔵
議員

◎原発30キロ圏内の避難計画について。

◎小浜市内に孤立する集落は何集落あるか。

◎防災担当課として、訓練実施の有無の把握や指導などが必要ではないか。

◎6月20日・21日実施した共同通信社の世論調査によると、安全保障関連法案が「憲法に違反していると思う」との回答が56.7%に上った。国のあり方を左右する集団的自衛権の行使について、市長の見解を問う。

◎国の議論を注視したい。

◎都道府県化される前に、国の財政支援と基金の取り崩しによって、国保税の引き下げができないか。

◎保険税の平準化により、小浜市の納付金額が高くなった場合、基金を充てることにより、保険税を上げないようにしていく。

◎小浜市の国民健康保険被保険者数は7395人、世帯数は4367世帯。

原発30キロ 複合災害時孤立18集落

◎孤立する可能性がある集落は18集落。そのうち高い樹木や電線等により、ヘリコプターの空中停止できない集落は5集落ある。訓練は繰り返し行うことが大切。終了後に改善点を明らかにすることにより、計画の改定につながることも重要。

◎多くの公民館主事が27年度末で任期満了になるが、次年度以降の任用方針を問う。

◎任期については、任用された日から起算して3年を限度として更新することができる。

◎コンビニ収納導入について。

◎課題への対応や、費用対効果を考えながら検討したい。

一般質問



下中 雅之
議員

問 第6期介護保険事業計画中に、地域包括支援センターをもう1か所増設することに對する考えを伺う。

答 近年、高齢者の増加により、更にきめ細かい相談支援が求められるため、より身近な地域で応じられるよう、第6期中に日常生活圏を2圏域とするのに合わせ、もう1か所増設する予定である。その運営方法について、地域包括支援センター運営協議会で十分協議してまいりたい。

問 在宅医療と介護の連携に対する、今後の考えを伺う。

答 今年度は専門職向けに、医療と介護に関する事例検討を行い、医療関係職と介護職が十分に連携をとりながら、適切な在宅医療・

生きがいあふれる安心のまちづくりを！

介護サービスが提供できる体制づくりを進めていく。

問 家族介護者の支援に對する今後の取り組みについて伺う。

答 今年度も引き続き「介護家族者交流事業」を実施する予定であるが、参加しやすい環境づくりに取り組んでまいりたい。また、介護者の介護や健康の悩みについて、いつでも相談できる支援体制の強化が重要であるため、地域包括支援センターを中心に総合相談体制の強化に努めたい。

問 小浜市保健・福祉サービスの拠点整備について、計画地に對する考えを伺う。

答 基本計画策定の中で調査・研究をしており、現在の場所は、公立小浜病院にも近いなど利便性が高く、また、市民の皆さまにも長年親しまれていることなどから、現在の南川町での建替えを基本として検討している。



能登 恵子
議員

質問1 「学校でのあらゆるマイノリティ（社会的少数者）への対応策」

① マイノリティの把握と対応

答 障がい者・発達障がい・アレルギー・外国人・等インクルーシブ（障がいがある無しにかかわらず、できるだけ共に学ぶ）に取り組んでいる。

② セクシャルマイノリティ（性同一性障がい）についての認識と対応

答 現状は理解不足。5月27日に各学校へ県から通知あり、今回の通知を契機として、研修・啓発に取り組みたい。

③ 新しく立てられる学校（仮称、東部小学校）への設計的配慮は。

答 参加された委員のほとんどは「必要性は低い」と言う認識。配慮なし。

みんなにやさしいまちづくりを推進！

市長**答** 必要かどうか検討。

質問2 「市役所玄関口の庇について」

高齢者や車いすの方々が、雨の日市役所に入るのにびしょ濡れになります。何とかありませんか？の声に、バリアフリー・ユニバーサルデザインと言って、高齢者や障がい者の為に、生活の流れの中で、バリアフリーを、特に駐車場から市役所入口への庇を求めた。

答 「高齢者、障がい者等の円滑化の促進」と言う国の方針でも、「配慮した建築設計標準」が示されており、困難を抱えた方に公共施設の使い勝手をお聞きし調査したい。



議会を傍聴しませんか？

住所と氏名を書くだけで傍聴することができます。小浜市役所5階議会事務局までお越しください。

8月28日 (金)	本会議
9月9日 (水)	一般質問
9月10日 (木)	一般質問
9月16日 (水)	本会議
10月6日 (火)	本会議

今月の表紙

—梅田雲浜先生

生誕200年—

梅田雲浜先生の生誕200年記念顕彰祭が6月7日に行われました。当日除幕された顕彰看板には、明治維新の先駆けとして活躍されたその功績が記されています。

「濱の四季」 指定管理者制度へ

今年4月から「濱の四季」は指定管理者制度での営業が新たに始まりました。指定管理者制度とは、公の施設の管理に民間等の能力を活用し運営代行するもので、民間のノウハウを活用することにより、お客様サービスの質の向上を図っていくための制度です。

新たな取り組みとして、営業時間を延長し食券機を設置しました。食券機は一旦、合理化を図ったように思えますが、それによりオーダーやレジ業務に要する時間が削減され料理を早く提供できるようになり、接客に余裕が生まれるので、会話をとおしてのおもてなしができるなどサービスの向上につながっています。



食券

- 【営業時間】 11:00～20:30 (L.O 20:00)
- 【定休日】 毎週水曜日(祝日の場合は営業)
年末年始
- 【電話番号】 0770-53-0141

市内はもとより市外や県外からも多くのお客様に来店してもらうために、食材は地元の物を主に使用し、無添加にこだわったメニュー作りを心がけています。

定番メニュー以外に、予算に応じた別メニューや団体貸切りのバイキングなどにも対応しており、日本遺産認定を記念した『鯖街道御膳』など、お客様に喜んでもらえるようなメニューを考えていきたいとのことでした。

これからも、濱のお母ちゃんのまごころがこもった料理の提供と、より良い接客に努めるなどサービスの向上を図るとともに、小浜市が推進する食育のモデルとなる店づくりを目指しながら、さらにおばま観光局が指定管理を受けた意味として、街中へ入り込んでいただけるよう祭・イベントの案内やお土産や観光地の案内など、小浜の観光振興にも力を入れていきたいということです。

海の幸、里の幸と豊富な食材がある御食国の小浜市だからこそこの店づくりで、市内外へと食をとおしての小浜のPRを期待したいです。



濱の四季スタッフ

寄附行為の禁止について

公職選挙法により、議員は選挙区内の人や団体に対しての寄附行為や金品の授受をすることが禁止されています。

禁止されている例として以下のようがあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- 地域の行事や運動会への差し入れ
- 病氣見舞い
- 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
- 出産、入学、卒業、就職等の祝い金や祝い物
- お中元やお歳暮
- 年賀状、暑中見舞い等の時候のあいさつ状(答礼のための自筆を除く)

また、政治家に寄附をするよう勧めることや、求めることも禁じられていますので、皆様のご理解をお願いいたします。

編集後記

5月から第17期の小浜市議会がスタートいたしました。

議会の動きや取り組みについて、市民の皆様に分かりやすくを motto に、委員会メンバーが力を合わせて取り組んでいく所存です。

ご意見、感想などありましたらお気軽にお声掛けいただきますようお願いいたします。

(委員長 藤田靖人)



広報委員会メンバー